

# 農業用ダムの貯水状況調査 【大分県集計】

( 令和2年12月1日 12:00 現在 )

農村基盤整備課 水利整備班

都道府県名	管内	水系名	ダム名	有効貯水量 (千m3)	受益面積(ha)		管理者名	現貯水量 (千m3)	貯水率 (%)	前回調査との比較		平年(H22-R1)との比較		備考
					うち水田	11月2日時点 貯水率(%)				11月2日時点 との増減(%)	平年同時期 貯水率(%)	平年比(%)		
	中部	大野川	石場ダム	2,154	948.0		野津土地改良区	1,859	86.3	91.0	△ 4.7	90.3	95.6	
	上流	大野川	大谷ダム	1,500	555.0	555.0	荻柏原土地改良区	795	97.0	100.0	△ 3.0	93.9	103.2	
		大野川	大蘇ダム	3,890	1,865.0	767.0	大野川上流地域維持管理協議会	1,657	42.6	63.2	△ 20.6	—	—	令和2年4月1日調査開始
	大野	大野川	師田原ダム	2,912	1,160.0	284.0	大野町土地改良区	2,483	85.3	82.8	2.5	85.7	99.4	
	北部	桂川	並石ダム	1,429	670.0	255.0	並石土地改良区	1,429	100.0	100.0	0.0	92.6	108.0	
		駅館川	日出生ダム	7,160	3,917.0	3,211.0	駅館川土地改良区連合	4,575	63.9	59.0	4.9	55.7	114.7	
		駅館川	日指ダム	4,510	2,919.2	2,919.2	駅館川土地改良区連合	3,704	82.1	78.4	3.7	81.4	100.9	
		駅館川	香下ダム	2,020	363.6	363.6	駅館川土地改良区連合	1,583	78.4	81.5	△ 3.2	67.1	116.8	
		駅館川	深見ダム	1,250	776.0	776.0	宇佐市	669	53.5	60.2	△ 6.6	61.0	87.7	
		合計		9	32,601	16,624.1	11,773.1							

※平年貯水量はH22年度～令和元年度の貯水量より算出、国報告は過去蓄積データ(ダムごと)全てより算出しているため、平年値は異なる。  
 ※大谷ダムは堆積量が680千m3程度あるため、貯水率については、堆砂量を考慮し、農業用水として利用可能な820千m3に対して算定している。  
 利水貯水量

大分県	北部	山国川	耶馬溪ダム	9,800			国土交通省	9,231	94.2	94.4	△ 0.2	89.8	104.9	有効貯水量は21,000千m3
-----	----	-----	-------	-------	--	--	-------	-------	------	------	-------	------	-------	-----------------

※平年貯水量は平成22年度～令和元年度の貯水量より算出。